

静岡県藤枝市

【3期計画：平成30年4月～平成35年3月】

- ・江戸期：東海道五十三次の21番目、22番目の宿場町として栄える。
- ・戦後期：周辺4市2町を含む志太榛原地域の中心的役割を担い、「サッカーのまち」として全国的に知名度が上がる。
- ・平成20年に2市町が合併、人口 143,605人（平成27年国勢調査）、面積 194.06km²

【前期計画(平成25年4月～平成30年3月)の概要】

- 「藤枝市の中心」から「志太榛原地域の都心」へのステップアップを目指し、「来る人、住む人、充実満足 営み溢れ持続可能な“生活・交流都心”」をまちづくりのテーマに掲げ、ハード整備を中心とした取組みを実施。
- 駅南地区においてホテル・商業施設等の複合施設の立地や多種多様なイベントの開催等により、生活・交流都心づくりが進み、歩行者通行量や居住人口の増加が見られるが、昼間の賑わい、駅北地区の求心力及び市民の生活満足度は低迷。

【中心市街地の課題等】

- 生活満足度の低さ
 - 少子高齢化による自然減少が見込まれる中、小売業の活力低下や魅力的な店舗が少ないことから、中心市街地の生活満足度が低いため、生活利便性の高い施設を集積させることにより、街なか居住の付加価値を向上させ、子育て世代をはじめとする居住人口の増加を推進する必要がある。
- 駅北地区の魅力低下
 - 市街地再開発事業の遅れや核となる施設の不足などから、駅北地区の魅力が低下しており、市街地再開発事業の促進と併せて、リノベーションによるまちづくり等を推進する必要がある。
- 昼間の賑わいの不足
 - 郊外店舗の立地や昼間人口の流出から、中心市街地の昼間の人通りが少ないため、静岡産業大学との連携による活動交流拠点を中心としたICT・IoT活用の取組みなどにより、人の流れを呼び込む必要がある。
- 回遊の不足
 - 観光・活動・交流資源が不足していることや、中心市街地エリア外の拠点との連携が進んでいないことから、エリア外の観光資源等と連携し、街なかの回遊性を高める必要がある。

【目指す中心市街地の都市像】

質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点

都市機能集積による生活利便性の向上

- 【主要事業】
- ・藤枝駅前1丁目6街区市街地再開発事業(商業施設、住宅供給)
 - ・田沼一丁目3地区・16地区マンション整備事業
 - ・子育てファミリー移住定住促進事業
 - ・空き家活用・流通促進事業
 - ・都市機能・まちなか居住促進事業 など

個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上

- 【主要事業】
- ・大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画(トライアルスペース開設・運営事業、街なかストックリノベーション事業 など)
 - ・リノベーション総合支援事業
 - ・空き店舗開業支援事業
 - ・ICT活用・IoT導入促進による起業サポートの取組み など

街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上

- 【主要事業】
- ・大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画(大学駅前キャンパス・産学官連携推進センター、食メディア研究展開業事業[ICT活用] など)
 - ・ICTで人の流れを呼び込むまちづくりの取組み
 - ・藤枝駅前1丁目6街区市街地再開発事業(商業施設、住宅供給)【再掲】 など

中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上

- 【主要事業】
- ・藤まつり連携事業
 - ・さわやかウォーキング連携事業
 - ・LOVE LOCAL FUJIEDA事業
 - ・青木地区回遊型イベント事業
 - ・ICTを活用したバス利用促進事業
 - ・街なか物産市開催事業 など

【前期計画目標】


目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値
人々が活発に活動・交流し、にぎわうまち	歩行者通行量	8,738人/日(H23)	10,350人/日(H29)	9,782人/日(H28:達成見込)
志太榛原地域の核となるまち	従業者数	907人(H23)	1,230人(H29)	1,315人(H28:達成見込)
安全・安心に生活が完結し、持続するまち	居住人口	9,732人(H23)	10,000人(H29)	10,629人(H28:達成見込)

【新計画目標】


目 標	目標指標	基準値	目標値
都市機能集積による生活利便性の向上	居住人口【社会増】	93人/年(H25～H28)	103人/年(H30～H34)
個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上	空き店舗数	49件(H28)	36件(H34)
街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上	昼間の歩行者通行量	7,356人/日(H29)	7,859人/日(H34)
中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上	イベント来場者数	53,319人/年(H28)	62,000人/年(H34)

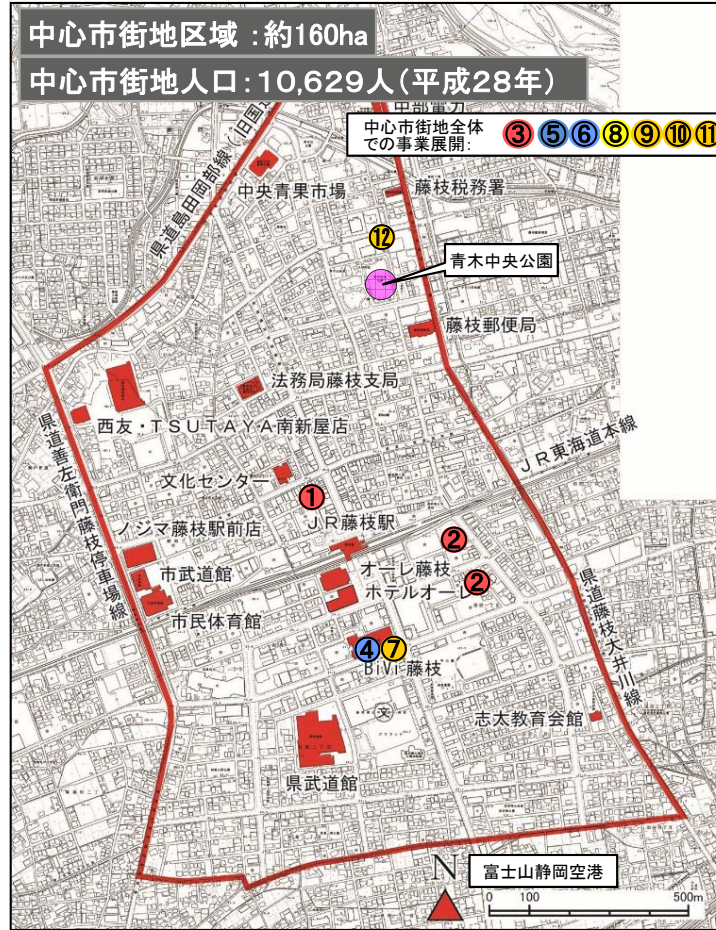
藤枝市中心市街地活性化基本計画の事業概要

都市機能集積による生活利便性の向上


- ①藤枝駅前一丁目6街区第一種市街地再開発事業
駅前商店街の中心部という立地特性を活かし、利便性の高い商業店舗や住宅等の整備を行い“街なか居住支援拠点”を形成する。
- ②田沼一丁目3地区・16地区マンション整備事業
コンパクトな街なか居住空間を形成するため、駅に近接する利便性の高い立地特性を活かした住宅供給を行う。
- ③子育てファミリー移住定住促進事業
子育てファミリーが市内で新築住宅を建築又は購入する際に要する経費等に対して助成をすることで、子育てファミリーの移住促進及び市内人口の流出抑制を図る。

個性的で魅力的な店舗の出店促進によるエリアの求心力向上


- ④大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる
藤枝“活動・交流都心”創造計画
“産学官連携による情報・ビジネス拠点”を形成し、若者の定着及び地域産業の稼ぐ力の向上を図る。
○トライアルスペース開設・運営事業、
街なかストックリノベーション事業
起業希望者向けに試行的店舗の開設スペースを設け、さらに、空き店舗等への出店に向けた開業支援を行うことで、起業支援とにぎわい創出を一体的に行う。
○ICT活用・IoT導入促進による起業サポートの取り組み
学生・起業希望者等への情報ビジネス体験学習等の実施。
- ⑤リノベーション総合支援事業
空き店舗等を活用したリノベーションの取り組みを推進するため、ワークショップ(リノベーションスクール)の開催やリノベーションのモデル実施等を行う。
- ⑥空き店舗開業支援事業
商店街等の空き店舗への出店者に対し改装費の一部を支援し、空き店舗の削減と新規出店を促進する。



街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上

- ⑦大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる
藤枝“活動・交流都心”創造計画【再掲】
○静岡産業大学駅前キャンパス・藤枝市産学官連携推進センター活動交流促進事業[ICT活用]
産学官連携の拠点として情報ビジネスの創出や人材育成、雇用マッチング等のソフト事業を展開。
○食メディア研究展開事業[ICT活用]
(株)ABC Cooking Studioと協働し、食をテーマにした市民公開講座・親子料理教室等を開催。
- ⑧ICTで人の流れを呼び込むまちづくりの取り組み
ソフトバンク(株)との包括連携協定や藤枝ICTコンソーシアムの設立を生かした、人材育成講座の定期開催や街なかの回遊性促進事業の実施。
(IoTを活用した次世代レンタルサイクルシステムの導入等)
- ①藤枝駅前一丁目6街区第一種市街地再開発事業【再掲】

中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上

- ⑨藤まつり連携事業
県内有数の集客力を持つ中心市街地外域のイベント「藤まつり」と街なかイベントの同時開催やPRにより、公共交通の活用促進と賑わいの相乗効果を図る。
- ⑩さわやかウォーキング連携事業
鉄道事業者主催のまちあるきイベントと街なかイベントの同時開催やPRにより、地域情報の発信や観光客数増加等の相乗効果を図る。
- ⑪LOVE LOCAL FUJIEDA事業
道路空間等を活用した各種イベント事業を毎月1回以上開催し、“市民がまちをもっと好きになる”シビックプライド醸成を企図した事業を展開。
- ⑫青木地区回遊型イベント事業
青木中央公園等の拠点施設を中心に店舗や施設と連携した回遊イベントを実施し、賑わいと回遊性の創出を図る。